



としょかんひろば

本と出会い、人と出会い、仲間が生まれる図書館 2023年2月 第261号

Books are for all 東近江市立永源寺・愛東・湖東図書館

図書館カレンダー

■はお休み

(第4金曜日は原則整理休館日)

永源寺・愛東

2月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | | | | |

3月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

湖東

2月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | | | | |

3月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

** 2月の映画会 **

<永源寺図書館>

展示のため、2月の映画会はおやすみします

<湖東図書館>

18日(土) 14:00~15:45

「男はつらいよ 噂の寅次郎」(邦画)

** ごぞんじですか **

インターネットで、図書館の資料を検索したり
本や雑誌のバックナンバーを予約することができます。
右のQRコードから、図書館ホームページにアクセス
してみてください。

※予約には図書館で発行するパスワードが必要です

各館の開館時間・連絡先

永源寺図書館 開館：10時~18時
tel:0748-27-8050 IP:050-5801-8050
fax:0748-27-8090

愛東図書館 開館：9時~17時
tel:0749-46-2266 IP:050-5801-2266

湖東図書館 開館：10時~18時
(木曜日のみ20時まで)

tel:0749-45-2300 IP:050-5801-2300
fax:0749-45-3343

図書館ホームページ→



あたらしくはいった本（永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します）

くらし・健康

全国温泉大全

MKタクシーがご案内とっておきの京都めぐり

認知症といわれたら

身近な素材でつくるかんたん養生酒

NHK出版健やかな毎日のための栄養大全

理想の暮らしをかなえるリビングの本

きもちを贈る

松田 忠徳／著

MKタクシー／監修

繁田 雅弘／監修

植木 もも子／著

上西 一弘／監修

杉浦 さやか／著

東京書籍

ナツメ社

講談社

PHP研究所

NHK出版

トーソー出版

ワニブックス

『暮らしっく』 高橋久美子／著 扶桑社

温泉に行くかわりに、バケツにお湯をためて楽しんだ足湯の話、落ちていた梅の実を夢中で拾ううち、気がつけば 25 キロもの梅を仕込んでいた話。そんな著者の何気ない暮らしのあれこれを綴った本です。飾り気のない語り口は、まるで近所の人と立ち話をしているかのよう。現在、東京のマンションと愛媛の実家を行ったり来たり二拠点生活をしている著者。愛媛で畑仕事にいそむようになったことの経緯は、ぜひ『その農地、私が買います』（ミシマ社）を読んでお確かめください。



ハギレのこもの

お菓子なあみぐるみ

かぎ針で編む帽子とマフラー&スヌード

つゆつきのつまみ細工のたからもの

語りかけるキルトの小もの

野菜もりもりスープこそ最高のごちそう。

ウクライナの家庭料理

ブロッコリーあったら、これつくろ！

豆腐、豆乳、豆乳ヨーグルトのおやつ

ホットケーキミックスの絶品おやつ

子どもの「好き」から始まる心地よい暮らし

Miya／著

土田 由紀子／著

斉藤 謠子／著

阪下 千恵／著

平野 顕子／著

今井 ようこ／著

ムラヨシ マサユキ／著

美濃羽 まゆみ／著

ブティック社

日本文芸社

アップルミンツ

日本ヴォーグ社

日本ヴォーグ社

主婦と生活社

パルコエンタテインメント事業部

オレンジページ

文化学園文化出版局

主婦と生活社

大和書房

社会・教育・福祉

情報支配社会

孤独という病

比叡山大阿闍梨心を掃除する

大塩平八郎の乱

ツタンカーメン100年

ビヨン Chol・ハン／著

池田 清彦／著

光永 圓道／著

藪田 貫／著

河江 肖剰／監修

花伝社

宝島社

小学館

中央公論新社

日経ナショナルジオグラフィック

『迫りくる核リスク <核抑止>を解体する』 吉田文彦／著 岩波書店

ロシアはウクライナ侵攻以後、核兵器の使用をほのめかす発言を繰り返し、世界の国々から非難を受けています。著者は“核抑止”をめぐる歴史と世界の現状を読み解くことで、核兵器そのものの危険性はもちろん、誤解や誤作動による危険性、AIやサイバー攻撃による新しい危険性も指摘し、“核抑止”には限界があることを明らかにします。その一方で、世界で一つだけの被爆国である日本が“核抑止”に頼っている現実についても触れられています。また、核兵器のない未来に向けての政策を示し、核が向けられているのは私たちの未来そのものだという考えが広まることで、その実現を目指せるのではないかと問いかけます。



| | | |
|---------------------------------|-------------|----------|
| 冒険・探検・歩く旅の食事の歴史物語 | デメット・ギュゼイ／著 | 原書房 |
| 7・8元首相銃撃事件 何が終わり、何が始まったのか？ | 河出書房新社編集部／編 | 河出書房新社 |
| 15歳からの社会保障 | 横山 北斗／著 | 日本評論社 |
| それってホントに子どものため？ | 柴田 愛子／著 | チャイルド本社 |
| Q&Aでわかる発達障害・知的障害のある子どものSNS利用ガイド | 金森 克浩／監修 | ジアース教育新社 |

自然・ビジネス・産業

| | | |
|-------------------|-------------|--------|
| 科学オモテウラ大事典 | 左巻 健男／編著 | 東洋館出版社 |
| 宇宙の図鑑 | 沼澤 茂美／著 | 誠文堂新光社 |
| 流されて生きる生き物たちの生存戦略 | 吉村 真由美／著 | 築地書館 |
| とことんエナガ、シマエナガ | BIRDER編集部／編 | 文一総合出版 |

『キリンのひづめ、ヒトの指』 郡司芽久／著 NHK出版

とにかくキリンが大好きで、キリンに関わる研究がしたい！ と比較解剖学の道に進んだ郡司さん。ヒトとキリンはまったく異なる見た目をしていますが、骨格の構造を見ていくと、共通点が多いというのだから驚きです。解剖し、その動物特有のユニークな特徴を見つけ、どう役立っているのかを調べる。いわば生き様を調べる研究なのだと言います。脚の長いキリンの皮膚はきつくて硬く、むくみ防止着圧ソックスのような機能がある。長い首は2mにもおよび、脳に血液を届けるのに、どの動物よりも高血圧である。など、ページをめくれば、生きるために進化した器官の一つひとつに、驚くことばかり！ そして、絶えず働き続ける自分の体内にも、思いをはせたくくなります。



| | | |
|----------------|---------|----------|
| 未来の年表業界大変化 | 河合 雅司／著 | 講談社 |
| ルポ食が壊れる | 堤 未果／著 | 文藝春秋 |
| 農産物直売所で稼ぐ70の極意 | 勝本 吉伸／著 | 家の光協会 |
| まんがでわかる畑の虫 | 木村 裕／監修 | 農山漁村文化協会 |
| 100均資本主義 | 郭 洋春／著 | プレジデント社 |

芸術・趣味

| | | |
|----------------------------|----------|---------|
| Honda Styleシビック生誕50周年記念特別号 | | コスミック出版 |
| 京阪神版鉄道地図鑑 | 地理情報開発／編 | 平凡社 |

『はじめまして農民美術』 グラフィック社

大正時代、フランス留学からロシアを経由して帰ってきた画家が、地元の若者たちとはじめた「農民美術」。農のしごとが少なくなる時季に工芸品や美術作品をつくり、土産物として売る。創造的で、生活の楽しみにもなり、副業として家計の助けにもなる…そんな仕事を農村にもたらそうというこの運動は、みるみるうちに全国へ広まったものの、太平洋戦争の開戦とともにそのほとんどが絶えてしまいました。子守や桑負いに勤しむ農村のひとびとを木片で彫り出した人形や、北欧食器のようなデザインの木皿、ししゅうのタペストリーなど、手に取ってみたいくなる可愛いものがたくさん紹介されています。



| | | |
|----------------------------|-----------|---------|
| おいしいボタニカル・アート | | 求龍堂 |
| 絵手紙にも使える！筆ペンでかわいいイラストが描ける本 | 朝日新聞出版／編著 | 朝日新聞出版 |
| ミニマルスタイルの革小物 | 土平 恭栄／著 | 日本ヴォーグ社 |
| 3ステップでできる！世界で一番やさしいマジック | 藤原 邦恭／著 | いかだ社 |
| ハンモックハイキング | 二宮 勇太郎／著 | 山と溪谷社 |
| All About TENT SAUNA | 大西 洋／著 | 山と溪谷社 |

ことば・文学・小説

教養としての上級語彙
 名著入門
 短歌のガチャポン
 角川俳句大歳時記 冬

宮崎 哲弥／著
 平田 オリザ／著
 穂村 弘／著
 茨木 和生／編集委員

新潮社
 朝日新聞出版
 小学館
 KADOKAWA

『旅行鞆のガラクタ』 伊集院静／著 小学館

一年の約半分、旅を続ける作家の伊集院さん。これまで世界各国を訪れましたが、土産品を買ったことはありませんでした。コレクションのきっかけは、一緒に暮らす犬たちが旅先で拾った木の実に興味を示したこと。ついでに家族にも何かを持ち帰るようになりました。その中の一つ中国の三峡石は、河原で見つけた、中央に白い輪が入ったアクセサリのような石です。現地の人には珍しいものではなかったのですが、20年以上経った今も思い出す、大切な旅の記憶が詰まっています。紹介された土産品の中には取材で訪れた滋賀の植物も登場します。



- | | | |
|--|---------------|--------------|
| 『青の刀匠』 火事で家族を失った男子高校生を引き取ったのは、女性の刀鍛冶だった | 天沢 夏月／著 | ポプラ社 |
| 『与太郎侍 江戸に花咲く』 山奥からやってきた与太郎がお節介。シリーズ第2弾 | 井川 香四郎／著 | 集英社 |
| 『ハートフル・ラブ』 大学生の恋愛や、余命宣告を受けた夫婦に潜むどんでん返しの謎 | 乾 くるみ／著 | 文藝春秋 |
| 『陰戦 高家表裏譚6』 幕府と朝廷の礼法を司る「高家」の若者に迫るは、陰謀と嫁取り | 上田 秀人／著 | KADOKAWA |
| 『骨灰』 自社の建設現場にまつわる、ネットのうわさ。広報担当が調査に赴くと―― | うぶかた とう／著 | KADOKAWA |
| 『ワンダーランド急行』 さまよいこんだ世界では、誰もマスクをしていない!? | 荻原 浩／著 | 日経BP日本経済新聞出版 |
| 『祝宴』 次女の結婚式の夜、「同性の恋人がいる」と告げた長女。理解と戸惑い、父の葛藤 | 温 又柔／著 | 新潮社 |
| 『江戸一新』 明暦の大火で燃え尽きた江戸を建て直せ! 「知恵伊豆」が立ち上がる | 門井 慶喜／著 | 中央公論新社 |
| 『戦国十二刻 女人阿修羅』 荒れ狂う世に翻弄された女性たち。7人の24時間を描く | 木下 昌輝／著 | 光文社 |
| 『任侠楽団』 義理人情に厚い親分が頼まれたのは、オーケストラの経営再建 | 今野 敏／著 | 中央公論新社 |
| 『荒ぶるや 空也十番勝負9』 京の華やかさに圧倒される空也に、薩摩の影が忍び寄る | 佐伯 泰英／著 | 文藝春秋 |
| 『乱れ坊主 公家武者信平ことはじめ11』 公家から旗本へ、そして父になる | 佐々木 裕一／著 | 講談社 |
| 『あんの明日 お勝手のあん7』 一人前の料理人として歩み始めたおやすの挑戦 | 柴田 よしき／著 | 角川春樹事務所 |
| 『踏切の幽霊』 1994年冬、心霊写真からはじまった下北沢の怪異の全貌 | 高野 和明／著 | 文藝春秋 |
| 『西国の宝船 おれは一万石』 能力重視の藩政改革は成功するか。シリーズ第23弾 | 千野 隆司／著 | 双葉社 |
| 『ゴッホの犬と耳とひまわり』 家計簿に記されたゴッホの署名。真筆か、それとも | 長野 まゆみ／著 | 講談社 |
| 『タスキメシ 五輪』 箱根駅伝の元選手が食でアスリートたちを支える。シリーズ第3弾 | 額賀 滯／著 | 小学館 |
| 『スパイシーな鯛 ゆうれい居酒屋2』 路地裏にたたずむ居酒屋に今夜も悩み多き客が | 山口 恵以子／著 | 文藝春秋 |
| 『私のことだま漂流記』 「小説家という生き物」の魂の航海をたどる本格自伝小説 | 山田 詠美／著 | 講談社 |
| 『小雪ずし 料理人季蔵捕物控』 一膳飯屋のあるじは、凄腕の密偵。シリーズ第44弾 | 和田 はつ子／著 | 角川春樹事務所 |
| 『シロかクロか、どちらにしてもトラ柄ではない たのしい暮しの断片』 | 金井 美恵子／文 | 平凡社 |
| 『生きる意味』 抜き差しならない困難に直面した時、人はその意味を問う | 姜 尚中／著 | 毎日新聞出版 |
| 『ある行旅死亡人の物語』 身元不明の遺体と現金3400万円の謎を追って | 武田 惇志&伊藤 亜衣／著 | 毎日新聞出版 |
| 『湖は知っている』 失踪した窃盗事件の「犯人」。その娘がたどり着いた真実とは | サンドラ・ブラウン／著 | 集英社 |

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。

永源寺図書館に、あたらしい大活字本が入りました。

『日曜日の歴史学』(山本博文) 『つまをめとらば』(青木文平) 『眩(くらら)』(朝井まかて)、
 『一所懸命』(岩井三四二) 『四色(よしき)の藍』(西條奈加) 『夢幻花』(東野圭吾) の6タイトルです。